

持続可能な循環社会 を目指して

中央環境審議会循環型社会計画部会
ヒアリング資料

福岡県大木町
環境課長 境公雄

大木町の概況

- 福岡県南部筑後平野の中央部、水郷柳川に隣接した農業の町
- 人口約14500人、面積18.43平方キロ
- 財政指標(平成22年度)
 - 財政力指数 0.52(県内30位 / 58市町村)
 - 実質公債費比率 8.0%(県内13位)
 - 経常収支比率 78.5(県内3位)
- 掘割が町の面積の約14%(総延長215km)
- 特産は、苺・シメジ・えのき・花ござなど
- 住民と行政による協働のまちづくりが進む



循環型社会形成推進基本法

持続可能な循環型社会を目指しているが……

私たちが注目しているのは

⇒ 3Rの優先順位とEPRの考え方を示していること。

しかし実情として

⇒ ごみ問題は一向に解決の方向に向かっていない。

⇒ 大量消費 - 大量廃棄・大量リサイクルでごみの量は高止まり

⇒ 市町村の財政負担や住民ボランティアの負担が増大

⇒ ポイ捨てが多く、地域環境悪化の最大の要因に

それは何故か

⇒ 焼却に過度に依存したごみ処理とその悪循環

⇒ リサイクルのみに偏重した3R

⇒ EPRが徹底していない



流れ着いたポイ捨てごみの状況(大木町の堀割)

遠賀川河口近くの海岸に流れ着いたポイ捨てごみ

提供：I love 遠賀川流域デポジット法制化を求める事務局



第18回環境自治体会議
ちっご会議(平成22年5月開催)
特別決議を採択

拡大生産者責任・デポジット制度の実
現で循環型社会の再構築を

「拡大生産者責任」「デポジット制度」の導入で循環型社会の再構築を

「大量生産、大量消費、大量廃棄」に象徴される使い捨て社会は、ごみ処理費負担増による基礎自治体財政の圧迫や最終処分場の確保の問題、深刻なポイ捨て・不法投棄問題、更に自然環境や景観の悪化要因となってまいりました。

このような状況を改善するために、国は2000年に「循環型社会形成推進基本法」を制定し、循環型社会の実現に必要な総合的かつ計画的な施策を定めました。

この中で循環型社会実現のための基本理念として、「排出者責任」と「拡大生産者責任」を掲げ、「リサイクル」(再生利用)を推進しています。しかし、「リサイクル」(再生利用)よりも「リデュース」(発生抑制)や「リユース」(再使用)を優先した社会を目指さなければなりません。

現状の「大量リサイクル」対策は、市民ボランティアの努力と税金が支えている構図となっており、基礎自治体のごみ処理とリサイクルに要する費用負担は増加の一途をたどっています。

これまでの「大量リサイクル」対策はどちらかと言えば出口対策であり、これだけではごみ問題の根本的な解決になりません。よって、ごみの発生抑制のための入り口対策が急務と考えます。

自治体や市民ボランティアに負担がかかる「大量リサイクル」対策を改め、製造者や流通・販売業者、そして消費者が責任を持つこと、すなわち処理・リサイクル費用のすべてを製品価格に含める制度の導入が必要だと考えます。

この考え方こそOECD(経済協力開発機構)が提起する「拡大生産者責任」の考え方であり、生産者及び消費者が環境負荷の低減に応分の負担を負うという理念に沿うものだと考えます。

使い捨て容器のポイ捨て・不法投棄は、掘割が縦横に走り豊かな自然と本来美しい田園風景に囲まれた、この筑後地域の自然や景観を台無しにしてきました。

このようなことに鑑みれば、ポイ捨て・不法投棄を減らし、ごみの発生抑制対策として効果的な「デポジット制度」(預かり金上乘せ制度)の導入が是非とも必要であり、それはこの筑後地域の悲願でもあります。

第18回環境自治体会議ちっご会議は、地域の自然を守り、持続可能な循環型社会の実現に欠かせない「拡大生産者責任」と「デポジット制度」の導入を強く求めていくことをここに決議します。

ちっこ委員会として活動を継続

○「ちっこ委員会とは」

環境自治体を目指す「ちっこ委員会」は、平成22年5月に、筑後市・大川市・大木町が共同開催した、第18回環境自治体会議「ちっこ会議」の課題を実現するために、2市1町の住民・首長・行政・識者で構成された団体。

○「ちっこ委員会」のEPR・デポジット制度化に向けた取組み

- 国会請願のための住民署名の実施 平成23年2月～5月
 - 3万筆の目標で、35331筆の署名を集め国会請願。
- 全国の首長への賛同・議会への意見書採択働きかけ
 - 平成23年11月までに、136自治体の首長が賛同
 - 意見書採択自治体議会116自治体、趣旨採択6自治体議会

○平成23年11月、政府に要望書提出

ごみ焼却主義からの脱却が必要！？

● 焼却大国ニッポン

- 一般廃棄物の約74%を焼却する焼却大国
- 一般廃棄物焼却炉1200基以上、世界の焼却炉の約3分の2

● ごみ焼却中心主義の限界も

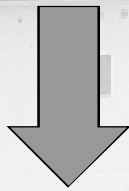
- 安易な焼却主義ではごみ問題の解決につながらない！
- 焼却炉に対する建設費・維持費とも高額な費用負担は自治体財政を圧迫している。
- 連続稼働の高価な焼却炉に頼ったごみ政策は徹底したごみ減量・リサイクルと矛盾する。
- 焼却主義により発生抑制やリサイクルが進まない。大量消費が維持され、資源の浪費が継続する。 持続可能ではない。

● 建替え時期を前に、焼却中心政策の見直しが必要

- このまま焼却炉を建替え続けることは、ごみ問題の解決を先送りにつながる。

大川市清掃センターは老朽化

- 稼働後19年が経過
(既に建て替えの時期を迎えている)
- 建て替えには50億円が必要



15年間の延命化を目指す！

- そのためには、
ごみ削減が不可欠
- 3年後(H26年度)までに全体で1,500t以上の焼却ごみ削減を目指しています

大川市 1,000t
大木町 500t

● 大木町もったいない宣言 ●

(ゼロ・ウェイスト宣言)

子どもたちの未来が危ない。

地球温暖化による気候変動は、100年後の人類の存在を脅かすほど深刻さを増しています。その原因が人間の活動や大量に資源を消費する社会にあることは明らかです。

私たちは、無駄の多い暮らしを見直し、これ以上子どもたちに「つけ」を残さない町を作ることを決意し、「大木町もったいない宣言」をここに公表します。

- 1、先人の暮らしの知恵に学び、「もったいない」の心を育て、無駄のない町の暮らしを創造します。
- 2、もともとは貴重な資源である「ごみ」の再資源化を進め、2016年(平成28年)度までに、「ごみ」の焼却・埋立て処分をしない町を目指します。
- 3、大木町は、地球上の小さな小さな町ではありますが、地球の一員としての志を持ち、同じ志を持つ世界中の人々と手をつなぎ、持続可能なまちづくりを進めます。

以上宣言します。

2008年3月11日 大木町議会議決

ゼロウェイストの考え方

■ ゼロウェイストの考え方

- 出てきたごみを「燃やす」「埋め立てる」「なんでもリサイクル」ではなくて、そもそもごみを発生させないという考え方を徹底する。
- 地域住民の納得と協力(住民のごみ施策への参加)
- 地域主義、低コスト、低環境負荷、最新技術に頼らない
 - 4L(Local , Low Cost , Low Impact , Low Tech)

■ 世界中で広がるゼロウェイスト宣言。

- 日本では徳島県上勝町が初めて宣言、大木町が2番目
- 1996年、オーストラリアの首都、キャンベラが宣言
- 米国・カナダ・ヨーロッパ・ニュージーランドなど約100の自治体で宣言。

大木町のごみ処理の状況

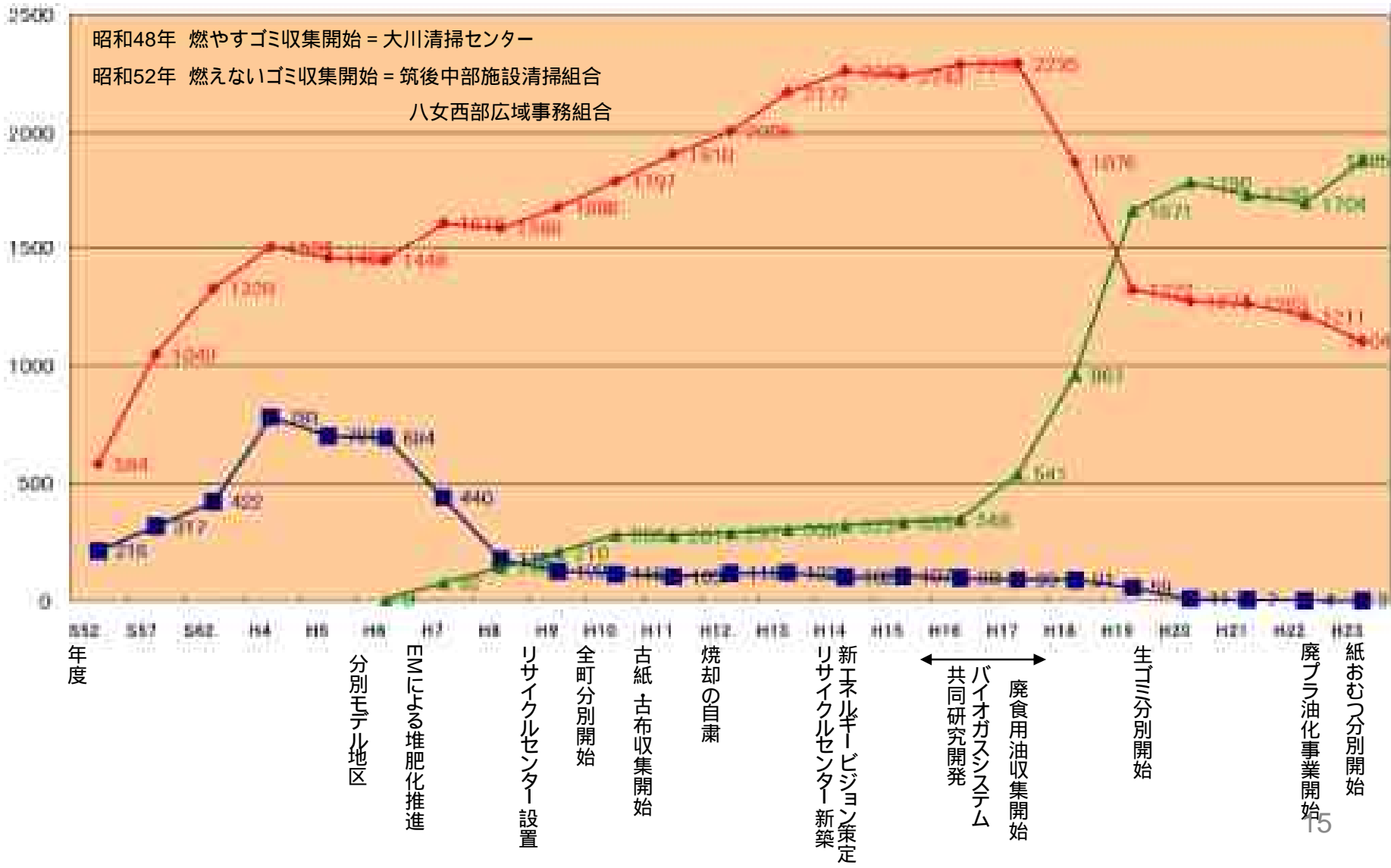
大木町のごみ処理の状況

生ごみなど分別排出の徹底により、平成23年度のリサイクル率は56.5%で、平成17年度に比べて**41.6%伸びています。**

町から出るごみの量及びリサイクル率

| | 排 出 量 (t) | | 23年度 / 17年度 | 平成23年度 1人1日当たり (g) |
|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------------------|
| | 平成17年度 | 平成23年度 | | |
| 燃 や す ご み | 3004.9 | 1448.1 | 48.2% | 274 |
| 燃 え な い ご み | 95.9 | 3.6 | 3.8% | 0.7 |
| 資 源 ご み | 541.1 | 1885.2 | 348.4% | 357 |
| (内 生 ご み) | - | (1176.6) | - | (223) |
| 合 計 | 3641.9 | 3336.9 | 91.6% | 633 |
| リサイクル率 | 14.9% | 56.5% | | |

ゴミ収集量(家庭)の推移

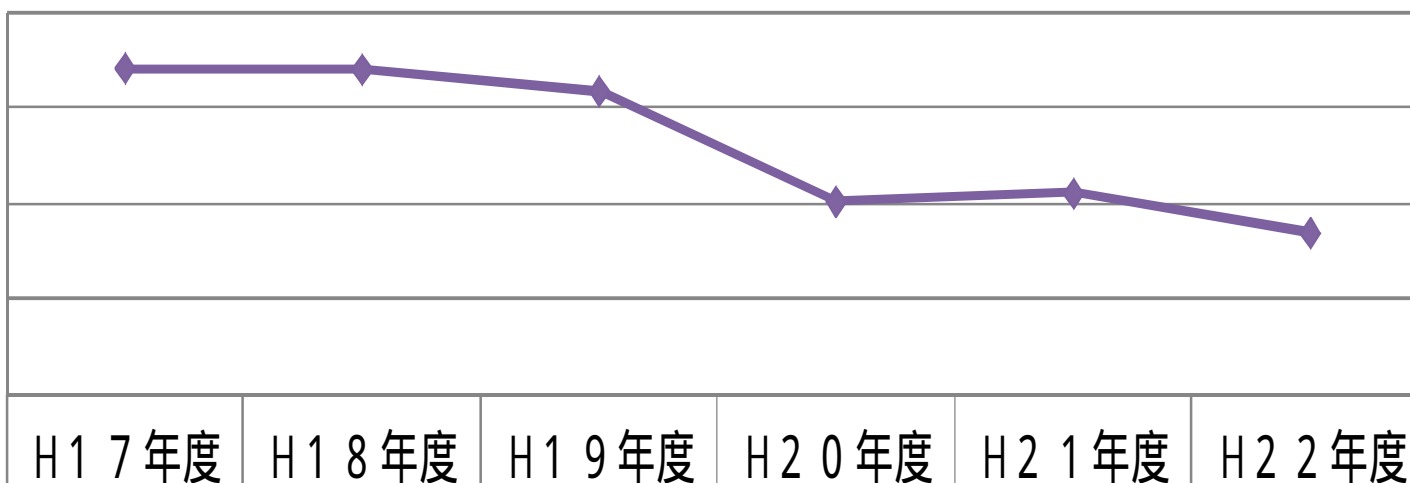


ごみ処理費用

塵芥費用

単位：千円

240,000
220,000
200,000
180,000
160,000



塵芥費用：不燃ごみ、可燃ごみ、生ごみ、し尿処理、及び各収集運搬費用

地区分別収集の区分

| No. | 分別区分 | No. | 分別区分 |
|-----|------------------------------|-----|---------|
| 1 | 空き缶類 | 12 | 金属製調理具 |
| 2 | 空きビン類(使い捨てビン) | 13 | その他金属類 |
| 3 | 活きビン(ビール瓶・一升瓶) | 14 | 釘・ねじ |
| 4 | ペットボトル | 15 | その他不燃物 |
| 5 | 白色トレイ | 16 | 食用廃油 |
| 6 | 蛍光管 | 17 | 飲料用紙パック |
| 7 | 乾電池 | 18 | 新聞紙 |
| 8 | 陶器類 | 19 | ダンボール |
| 9 | ガラス類 | 20 | その他の紙類 |
| 10 | 鏡・体温計・温度計・蛍光灯割れ・電球(白熱球)・グロー球 | 21 | 古着・古布 |
| 11 | 小型家電 | | |

その他

| No. | 分別区分 | No. | 分別区分 |
|-----|---------|-----|------|
| 22 | 生ごみ | 24 | 草木類 |
| 23 | 廃プラスチック | 25 | 紙おむつ |

地区分別収集の様子 1回/月 早朝実施



18

町環境プラザでの分別風景

生ごみ分別 平成18年11月から全町開始

- バケツコンテナ方式による収集
 - 山形県長井市レインボープラン方式
- 毎週2回収集(町内3区域)
 - 前日に収集バケツの配達
 - 祝日も収集
 - 生ごみ処理は無料
- 平成19年4月から
 - 燃やすごみは週1回
- 事業系は10kg当り
 - 50円の処理費

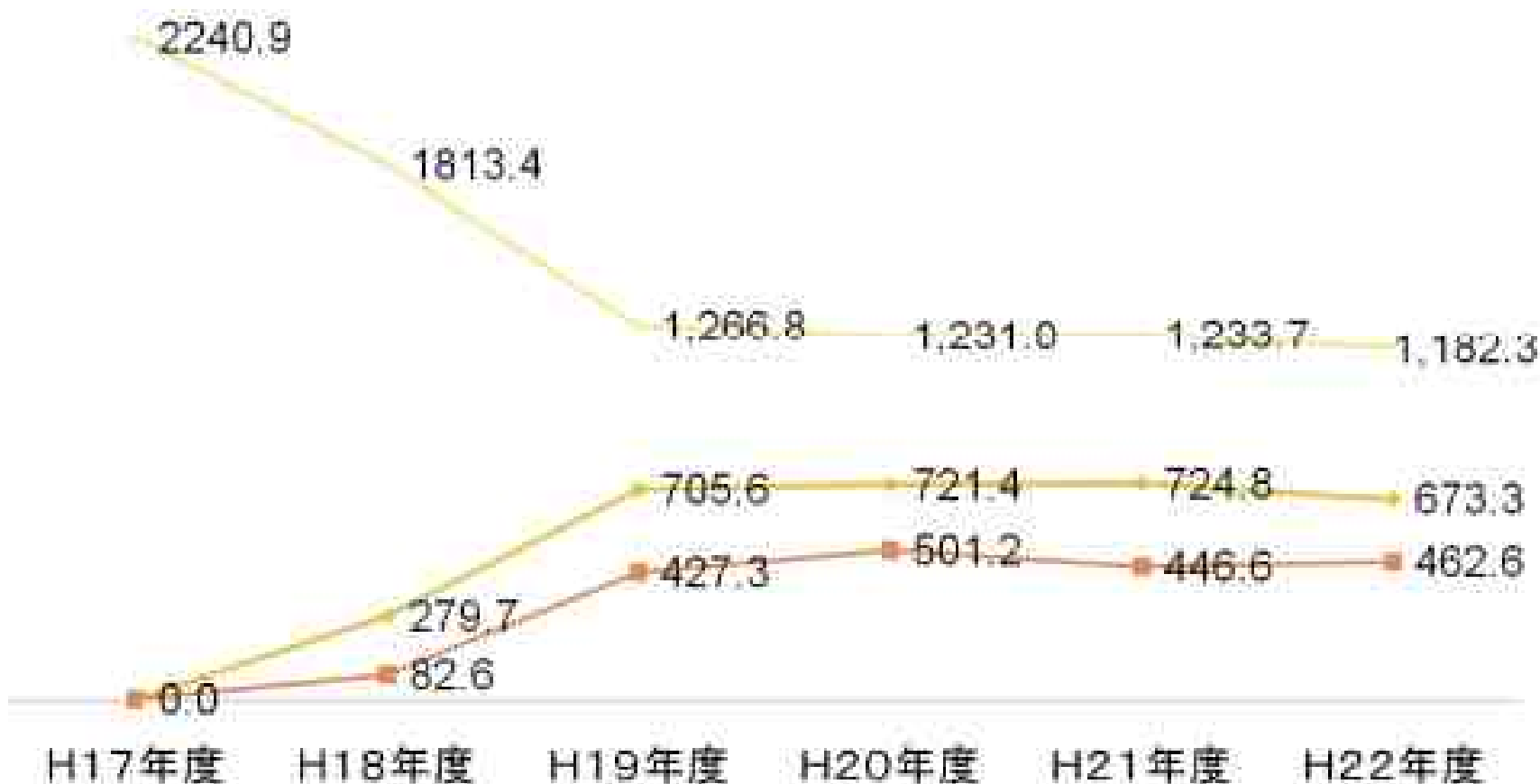


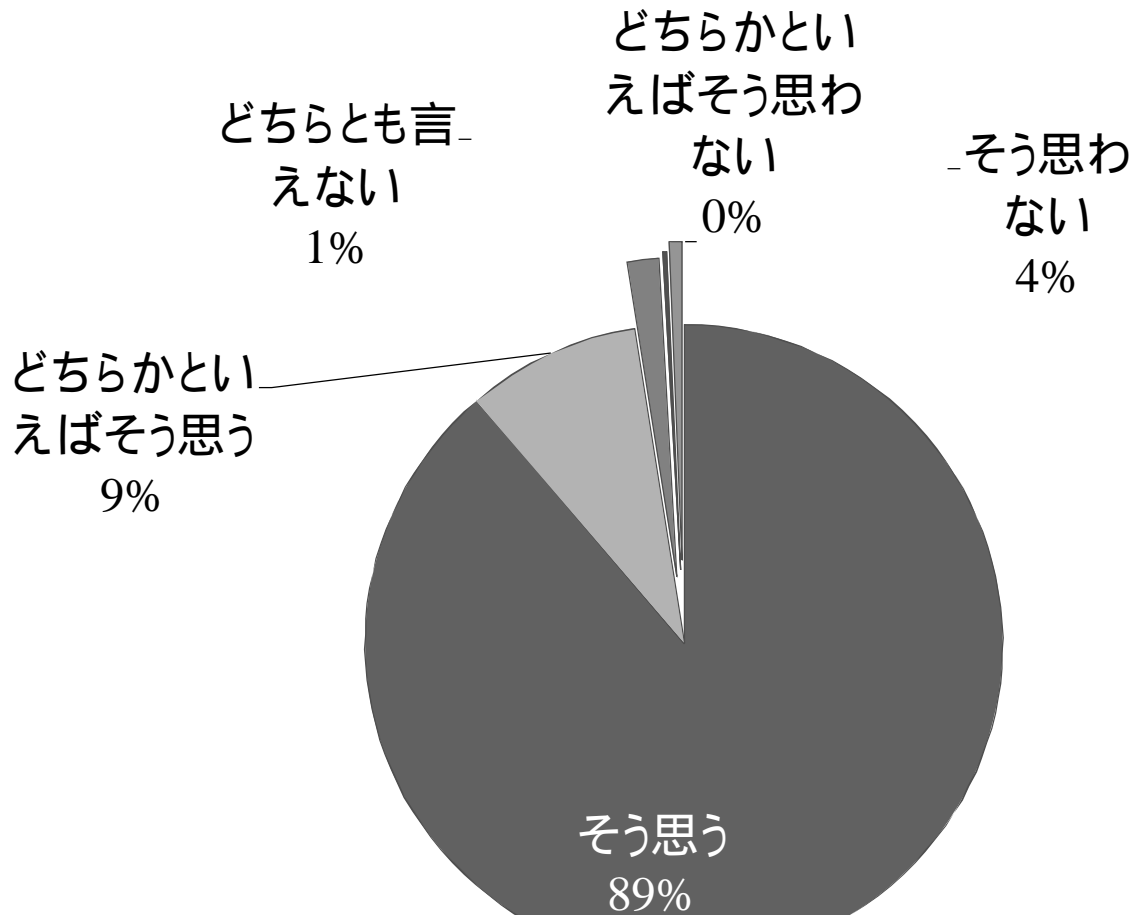
生ごみ分別収集の状況

家庭系燃やすごみ t/年

家庭系生ごみ t/年

事業系生ごみ t/年





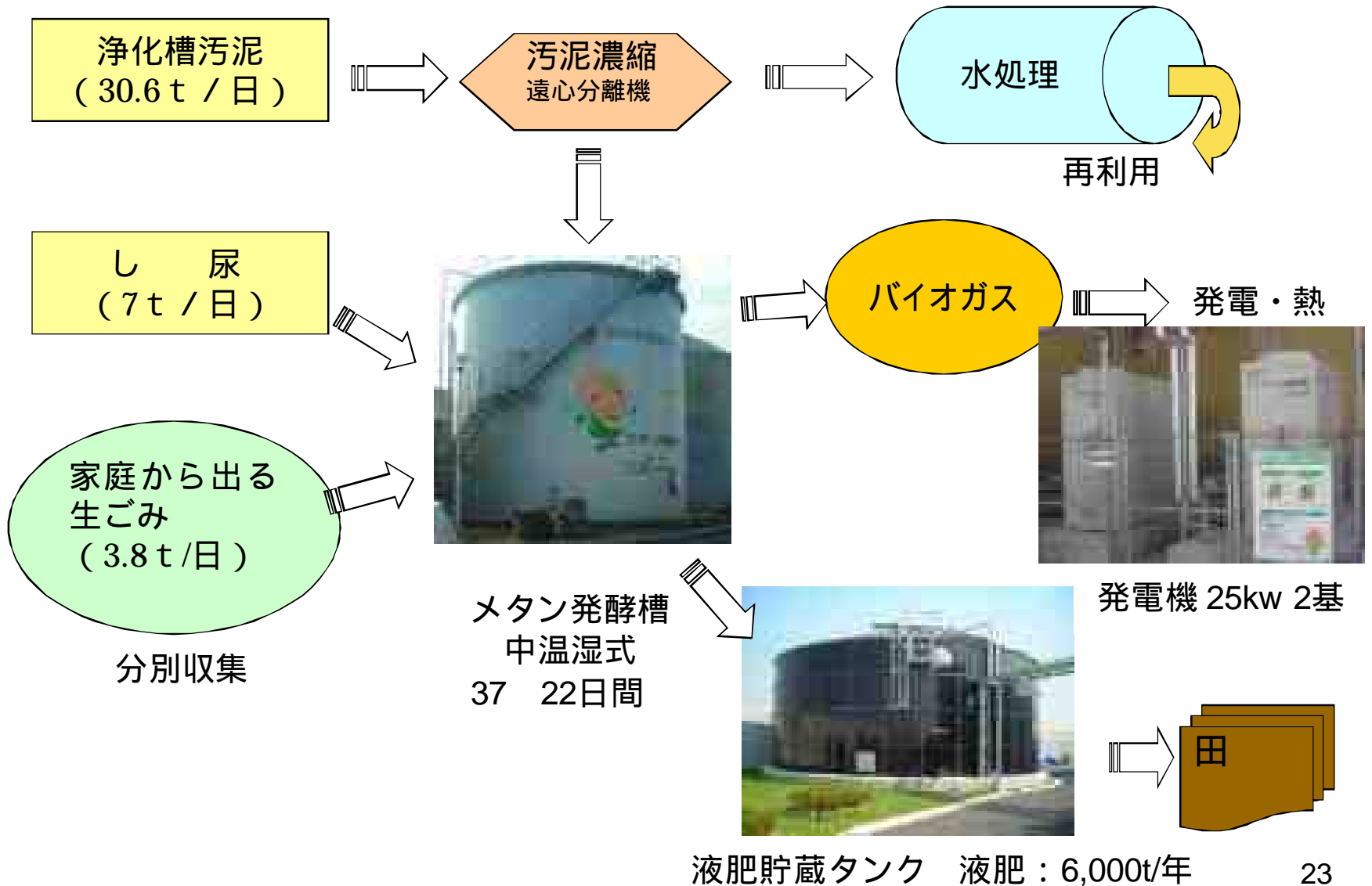
**これからも生ごみの分別(資源利用)
に協力していきたい。**

おおき循環センターくるるん

町の中心部に設置した
生ごみ・し尿・浄化槽汚泥の資源化施設



バイオガスシステムのフロー

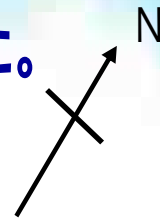


環をつなぐ地域循環システム



生ごみ・し尿・浄化槽汚泥を地域資源として循環活用するためには、地域循環を支える社会システムの確立が欠かせない。

道の駅おおき 平成22年4月オープンしました。



バイオマスセンター

健康地域応援レストラン
「デリ&ビュッフェくるん」

J A福岡大城農産物直売所
「くるん夢市場」

トイレ・情報提供施設
インフォメーションセンター

至大川市

国道442号バイパス

至筑後市

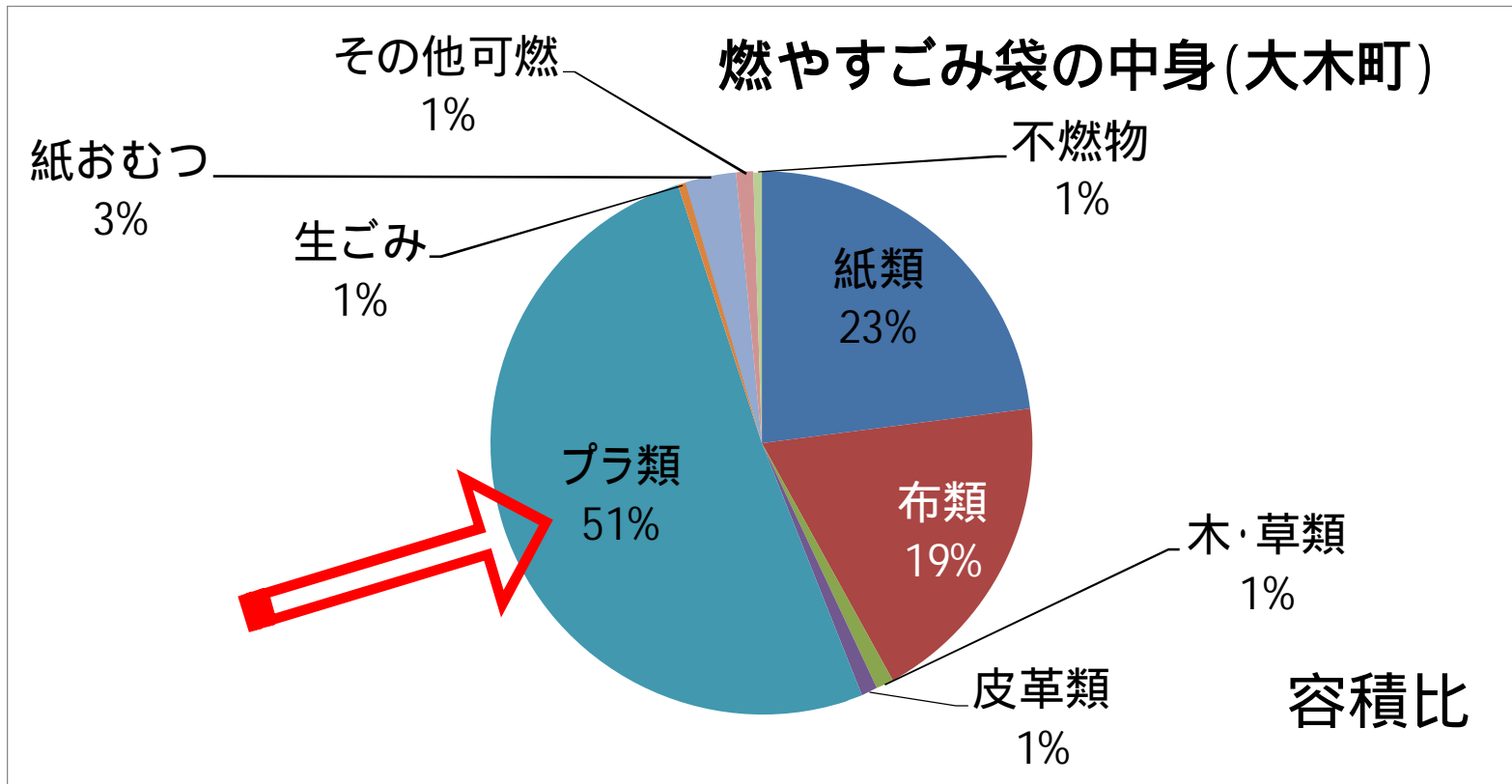
循環型多品目栽培農園



燃やすごみの組成(容積比)

(平成20年度大木町調べ)

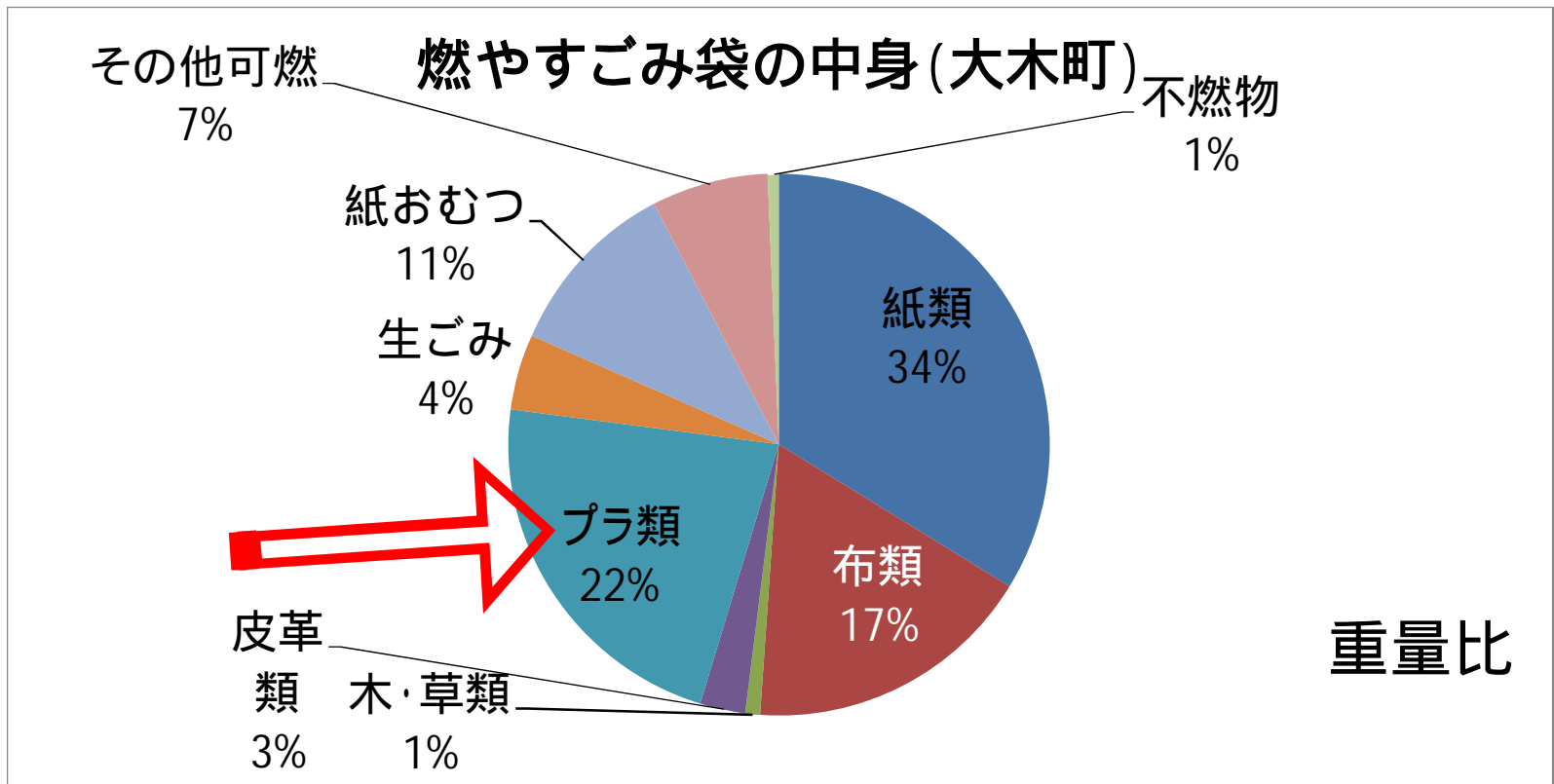
大木町の燃やすごみ組成調査では、**プラ類が51%**、**紙類が23%**を占めている



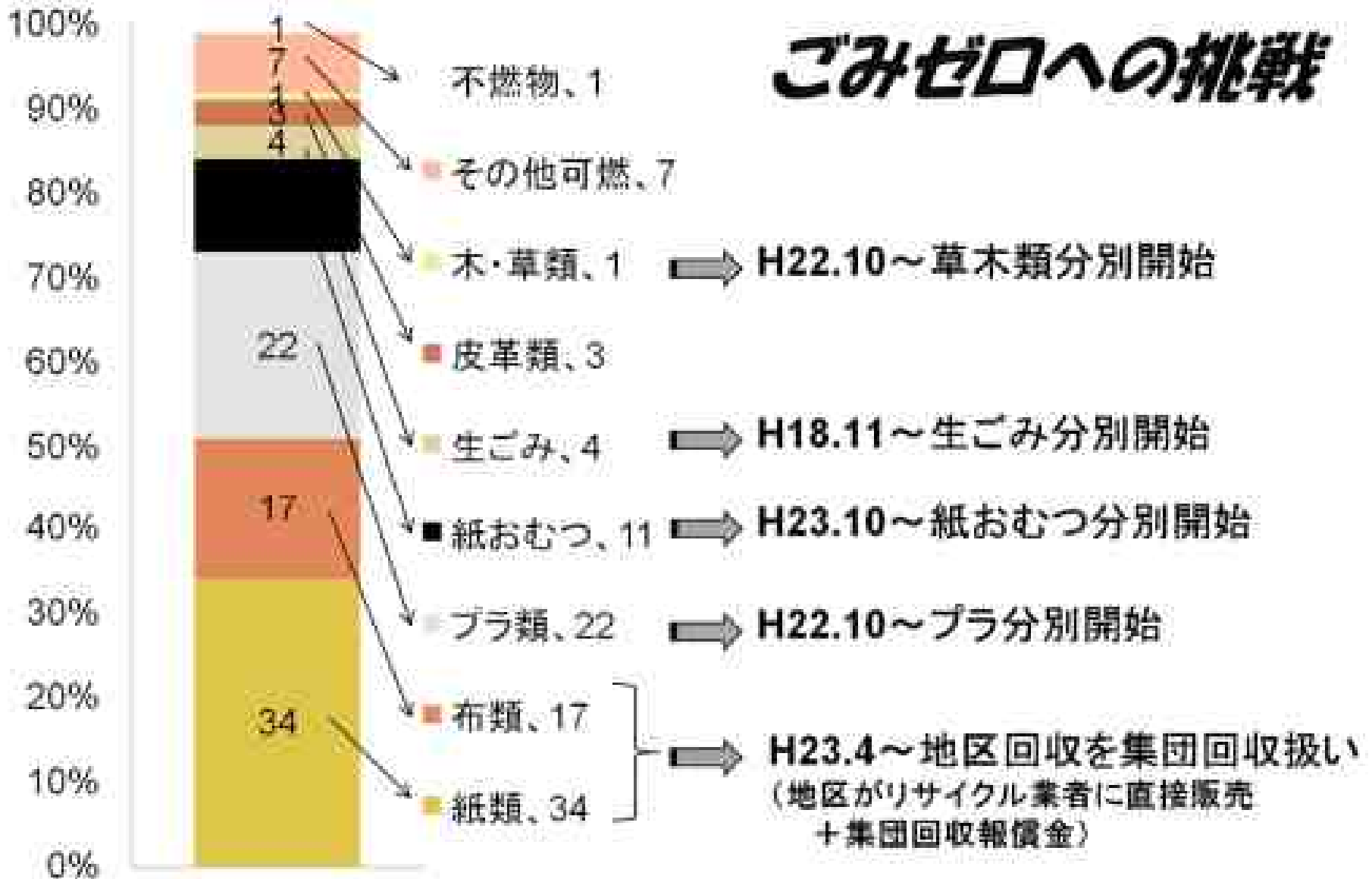
燃やすごみの組成(重量比)

(平成20年度大木町調べ)

大木町の燃やすごみ組成調査では、紙類が34%、**プラ類が22%**を占めている



ごみゼロへの挑戦



H20燃やすごみの組成(重量比)

小さな菓子箱や紙クズも紙袋にまとめれば雑紙として出せます。

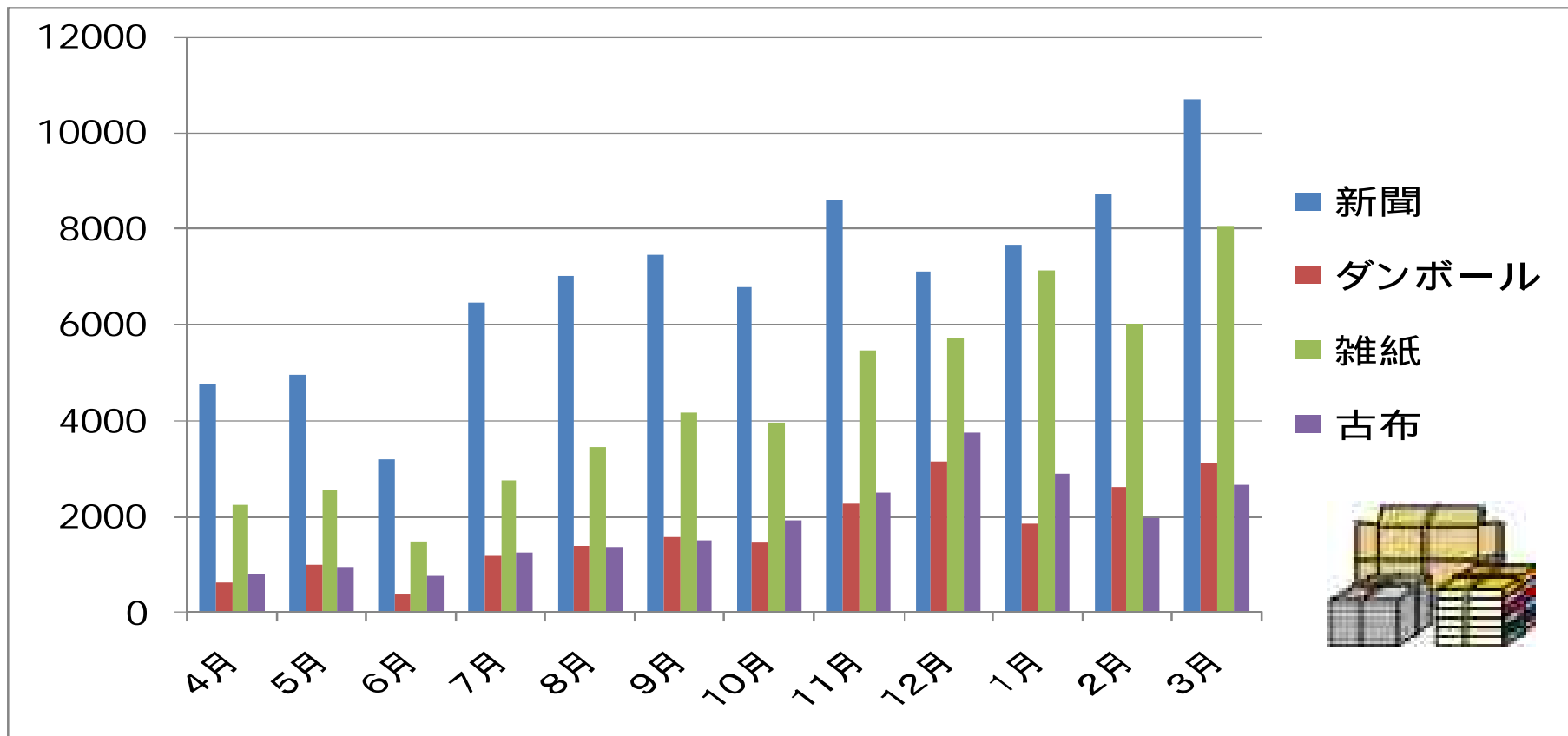


感熱紙・カーボン紙は×
シュレッダーにかけた紙
は透明のビニール袋に入
れて出してください。

古紙・古布地区別別状況

H23実績

kg



【常設置場を21か所に設置】

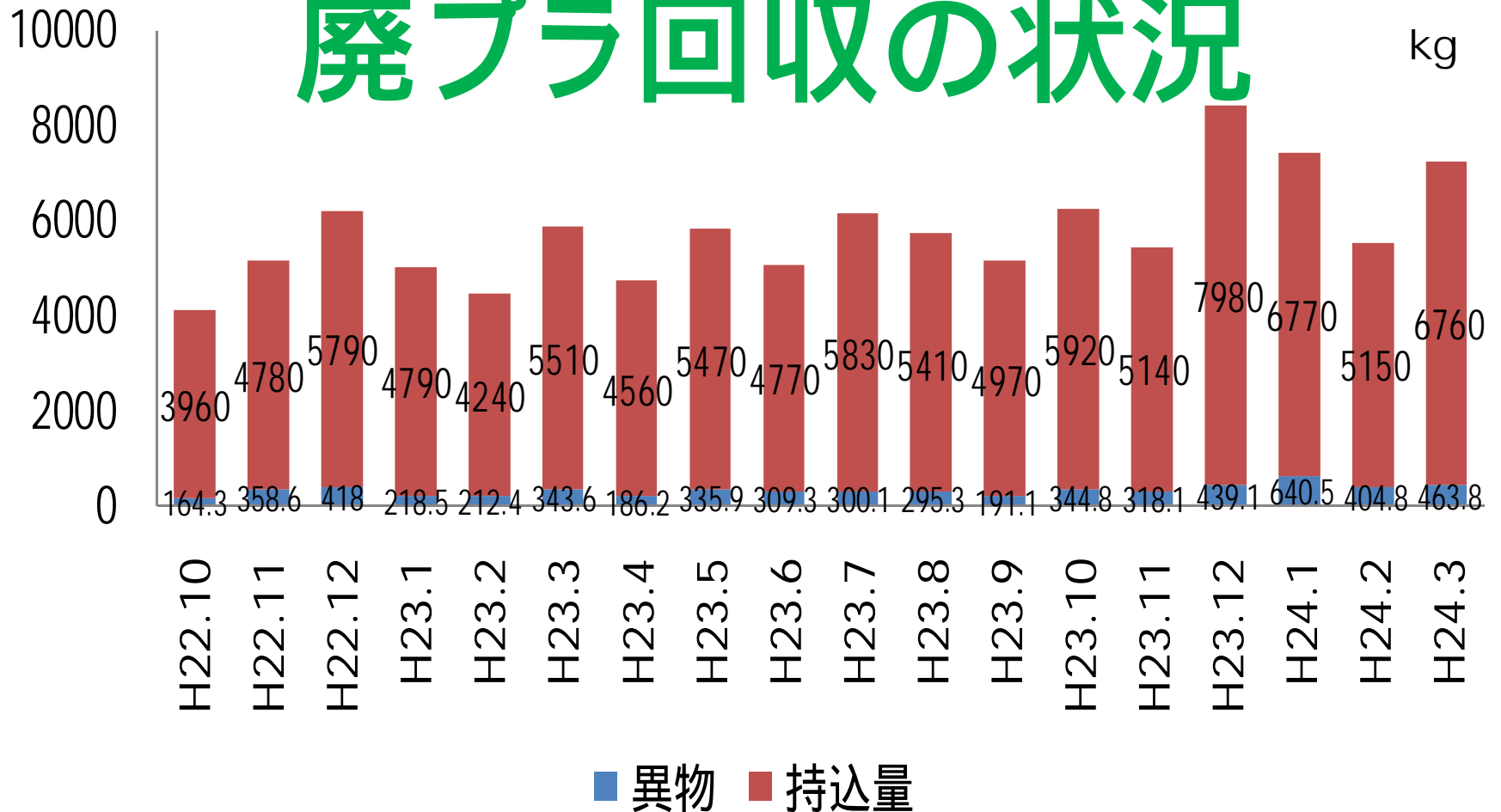
大角東、大角西、牟田、土甲呂、前牟田東、前牟田西、横溝町、堀田、道本、上八院上、八町牟田上、上牟田口、上木佐木下、高橋、奥牟田東、小入、中村、吉祥、荒牟田、野口中野、(奥牟田西)

平成21年10月スタート

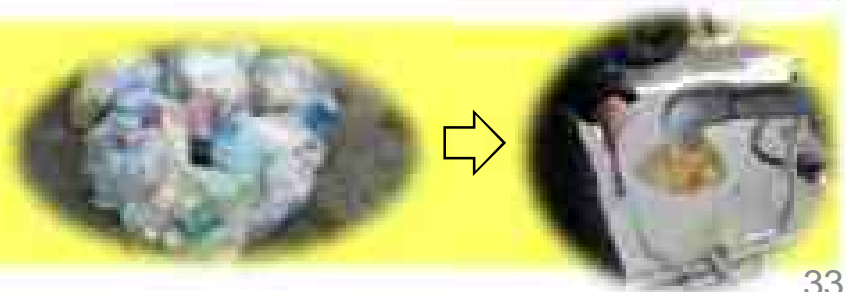


再生燃料は学校給食センターやアクアスの
重油ボイラー燃料として活用されています。

廃プラ回収の状況



- 目標: 20t / 月 (燃やすごみの22%)
- 現状: 平均6.1t (目標の約31%)
- 異物混入率: 10%



紙おむつリサイクル 平成22年10月スタート



紙おむつ、パット、お尻ふき
(ウェットティッシュ)が出せます。



指定袋(15L袋、10枚150円)
に入れ、口をしっかりと結んで出します。



行政区に1箇所程度設置している
回収ボックスに投入(いつでも
持込みOK)

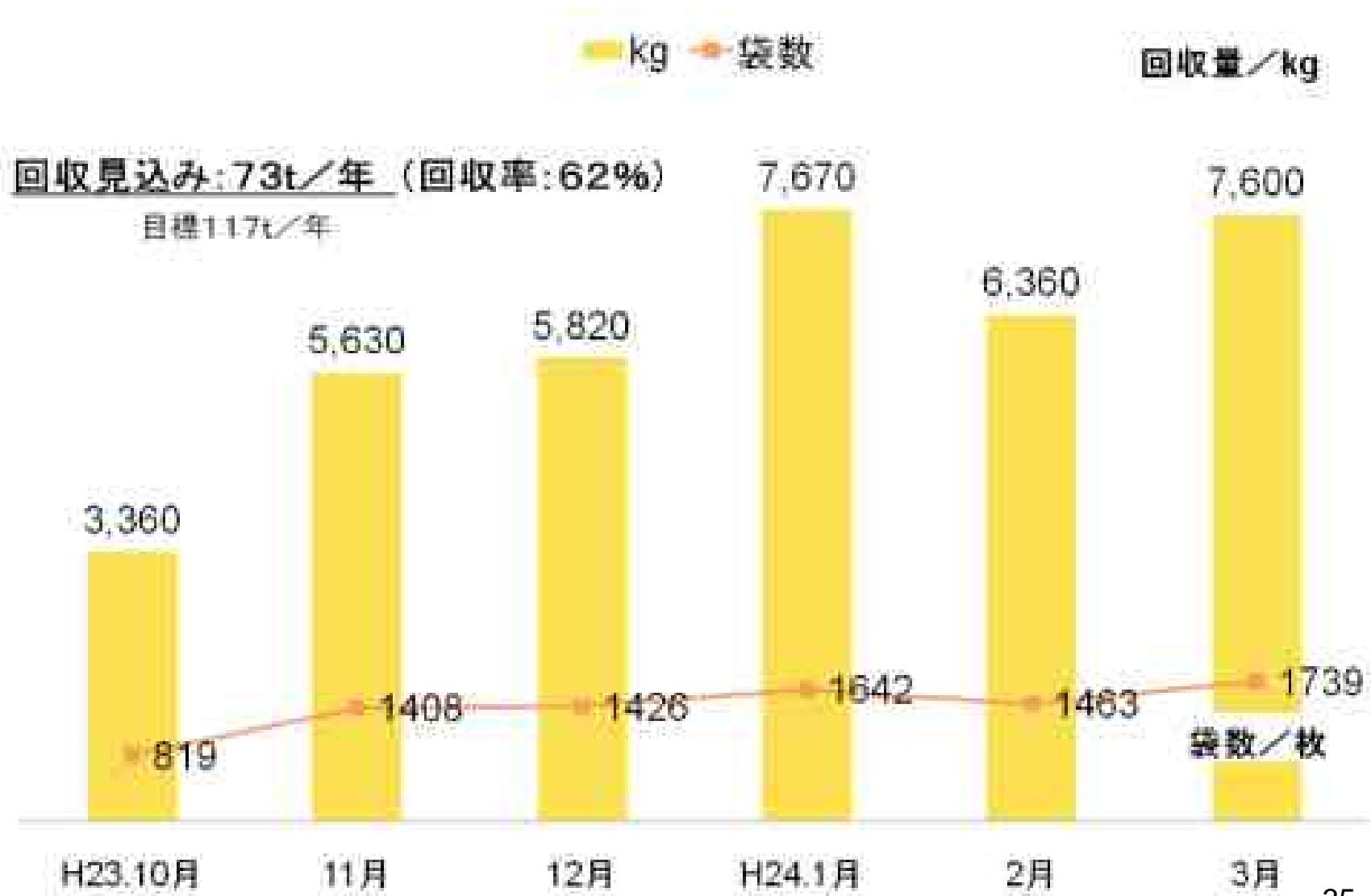


再生パルプを外壁材に利用して
います。環境プラザ研修室の外
壁材もこのボードを利用。



大牟田エコタウン内のリサイク
ル施設で水溶化分離処理。再
生パルプを作ります。

紙おむつ回収の状況



ごみ処理費の住民負担

| 旧ごみ処理負担 | | 新ごみ処理負担(H.23.10~) | |
|------------------|-------------|-------------------|-------------|
| 燃やすごみ袋(大)50L | 600円(10枚) | 燃やすごみ袋(中)35L | 600円(10枚) |
| 燃やすごみ袋(中)25L | 300円(10枚) | 燃やすごみ袋(小)15L | 300円(10枚) |
| プラスチック袋(大)50L | 150円(10枚) | 変更なし | |
| | | プラスチック袋(中)35L | 100円(10枚) |
| | | 紙おむつ袋(小)15L | 150円(10枚) |
| 粗大ごみ処理費 (シール) | 250円(1枚) | 変更なし | |
| 指定施設直接搬入 | 100円 / 10kg | 指定施設直接搬入 | 200円 / 10kg |